



千葉県佐倉市

千葉県佐倉市江原台2-27
 担当課:健康こども部健康増進課
 〒285-0825
 ☎ 043-485-6712 FAX 043-485-6714
<http://www.city.sakura.lg.jp/>
 Eメール:kenkouzoushin@city.sakura.lg.jp

本市のデータ

- (1)面積 103.69km²
- (2)人口 175,476人 (男 86,524人、女 88,952人) (平成31年3月末現在)
- (3)世帯数 77,645世帯
- (4)平均世帯人員 2.3人
- (5)若年人口 11.4%、生産人口 57.5%、高齢人口 31.1%

平成10年頃より徐々に人口の伸び率が少なくなっている。若年人口、生産人口は徐々に減少し、高齢人口は年々増加している。

(6)沿革

昭和29年3月31日、佐倉、志津、臼井、根郷、和田、弥富の6町村が合併し、佐倉市が誕生。昭和32年には四街道町の一部(現在の千代田地区)が仲間入りした

- (7)就業率 就業者数 78,540人 51.7%(H27 10月1日)
(出典 指標で知る千葉県2019より)

一次産業	二次産業	三次産業
1209人	14995人	58417人
1.6%	20.1%	78.3%



本市の概要

千葉県北部に位置し、都心から約40kmの距離に位置している。また、成田国際空港から西へ約15km、県庁所在地の千葉市から北東へ約20kmの距離にあり、行政面積103.5km²の首都圏近郊都市である。年間の平均気温は15℃前後で、比較的温暖な気候に恵まれている。印旛沼周辺、佐倉城址周辺、また東部、南部の農村地帯などには豊かな自然が残っている。

また旧石器時代から近代にいたる史跡や文化財が点在していることから、「歴史、自然、文化のまち」を標榜し、市民一人ひとりが心豊かに、生き生きと暮らせる活力にみちたまちを目指している。

城下町佐倉の面影が偲ばれる武家屋敷、四季折々の自然を味わうことのできる佐倉城址公園、市民文化を育む市民音楽ホールや市立美術館、オランダ風車「リーフデ」、メダリストを生んだジョギングロードなど、魅力溢れるビューポイントが数多くある。



武家屋敷「旧河原家」



日蘭親善のシンボル オランダ風車「リーフデ」

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

佐倉市では年間30～40人前後の自殺者がおり、平成22年以降、国・県の自殺死亡率を上回っていた。平成26年の45人をピークに3年連続で減少したものの、平成30年は再び増加した。平成30年の自殺者数(自殺日・住居地ベース)は、31人(男性19人、女性12人)である。国や県の自殺死亡率と比較すると、佐倉市は17.58とやや高い状況である。

市の自殺対策計画は、これまで佐倉市健康増進計画「健康さくら21(第2次)」の中で取り組んできた「こころの健康づくり」の取組を更に発展させる形として策定した。佐倉市健康増進計画「健康さくら21(第2次)」は、中間見直しを平成30年度に実施し、自殺対策を盛り込んだ。自殺対策計画は、すべての市町村が取り組む「基本施策」と佐倉市における自殺のハイリスク層と、支援が優先されるべき対象に焦点を絞った「重点施策」で構成している。また、佐倉市のハイリスク層は、1高齢者、2生活困窮者、3勤務・経営に関する問題を抱えた者であるとの分析結果があり、この対象者を積極的に支援する他、国をあげて、若年層の自殺対策が課題となっており、支援が優先されるべき対象として、児童・生徒については、SOSの出し方に関する教育への取り組みを計画に入れている。若年層の自殺予防対策として、教育委員会と連携を図り教職員向けのゲートキーパー研修を継続的に実施している。

<具体的な取組み>

1. 総合的な取組の推進及び関係機関との連携

- (1)平成21年度～ 佐倉市自殺対策庁内連絡会議の開催（開催・運営）年1～2回開催
- (2)平成21年度～ 佐倉市障害者自立支援協議会 精神部会への参加（主催：障害福祉課）
◆構成：家族会、事業所、相談所、医療機関、保健所、健康増進課、障害福祉課
- (3)平成21年度～ 自殺対策地区連絡会議への参加（主催：保健所）
◆構成：医師会（精神科医、内科医）、警察、消防、いのちの電話事務局、民生委員・児童委員協議会、管内市町村、保健所
- (4)平成24年度～ 自殺対策地区連絡会議作業部会への参加（主催：保健所）
◆構成：精神科救急機関病院、地域生活支援センター、職業安定所、警察、消防、市町村、保健所
- (5)平成23年度～ 印旛地域・職域連携推進協議会 作業部会への参加（主催：保健所）
◆構成：労働基準監督署、商工会議所、企業、農業協同組合、管内市町村、保健所
- (6)平成24年度 自殺のない社会づくり市区町村会 関東ブロック研修会への参加
- (7)平成25年度 自殺のない社会づくり市区町村連絡協議会 総会への出席
- (8)平成26年度～ 自殺のない社会づくり市区町村連絡協議会へ参画
- (9)平成25年度～ 生活困窮者自立促進支援モデル事業 自立支援計画支援調整会議への出席
- (10)平成27年度～ 佐倉市自殺対策庁内連絡会議に、収税課・社会福祉協議会の参加を依頼し連携を強化
- (11)平成30年度～ 佐倉市自殺対策庁内連絡会議に、産業振興課の参加を依頼し連携を強化
佐倉市健康増進計画「健康さくら21(第2次)」の中間見直しを実施。計画の中で取り組んできた「こころの健康づくり」の取組を更に発展させる形として自殺対策を盛り込み、市の自殺対策計画を策定。

2. 専門相談体制

- (1)平成20年度～ 「精神科医によるこころの健康相談」を実施。（精神科医による無料相談。年6回）
- (2)平成24年度～ 「カウンセラーによるこころの健康相談」を実施。（臨床心理士による無料相談。年6回）
※平成25年度～ こころの健康相談後は、問題が解決に向かうまで丁寧に継続支援している。
- (3)多重債務問題について、「司法書士相談」「行政書士相談」「法律・人権・行政相談」を実施。
※毎月1～3回、相談無料。（主催：自治人権推進課）
- (4)生活困窮者自立相談支援窓口（仕事の相談窓口） 主催：佐倉市・佐倉市生活困窮者自立支援事業共同事業体

3. 電話相談・面接相談：3つの保健センターで、保健師による電話相談・面接相談を随時実施。

4. 啓発活動

- (1)平成30年度 ①9月の自殺予防対策週間は、ポスター掲示を市内関係施設34か所に依頼。保健センター、市役所、社会福祉センターにのぼり旗設置。図書館3施設にポスター、のぼり旗設置。1図書館で啓発コーナーに関連図書展示。
②3月の自殺対策強化月間は、図書館3施設にポスターとのぼり旗設置。1図書館で啓発コーナーに関連図書展示。JR佐倉駅まちづくり市民ギャラリーにて啓発。自殺対策強化月間ポスター掲示を市内関係施設11か所に依頼。広報…自殺対策強化月間について掲載。ホームページに強化月間の特集記事や、図書館での啓発、心の相談先を掲載。市役所1階ロビーに啓発コーナー設置

5. うつ病対策・こころの健康対策

- (1)健康教育や出前健康講座で、保健師による講義を実施。

6. 市民向けこころの健康づくり講演会

- (1)平成28年度 テーマ：睡眠 講師：大川 匡子氏 参加74人
- (2)平成25年度～こころの健康づくり講演会&映画上映会を2年に1回開催。
平成25年度 テーマ：うつ病 講師：澤登 和夫氏 参加246人 映画：「パッチ・アダムス」
平成27年度 テーマ：こころの健康 講師：篠原 鋭一氏 参加490人
映画：「最高の人生の見つけ方」
平成29年度 テーマ：若者の自殺予防 講師：水谷修氏 映画上映なし参加356人
令和元年度 テーマ：(仮)こころの健康 講師：大野 裕氏 映画上映なし

7. 市民カレッジ受講生向けこころの講演会「メンタルヘルスについて」

- (1)平成19、20、21年度 講師：健康増進課保健師
- (2)平成22年度 講師：東邦大学医療センター佐倉病院精神科 教授 黒木宣夫氏
- (3)平成23年度 講師：東邦大学医療センター佐倉病院精神科 助教 林果林氏
- (4)平成24年度～講師：健康増進課保健師

8. 自殺を防ぐ窓口・相談対応研修

- (1)平成23年度 ①民生委員・児童委員向け
②市役所職員向け
※平成24年度～ ゲートキーパー養成研修を実施している。

9. ゲートキーパー養成研修

- (1)平成24年度 職員・民生委員向け（講師：岩手医科大学神経学講座 大塚耕太郎氏）
- (2)平成25年度 ①職員・相談員向け（講師：聖マリアンナ医科大学神経精神科研究員 田口 学氏）
②市民向け（講師：聖マリアンナ医科大学神経精神科研究員 田口 学氏）
- (3)平成26年度 ①職員向け（講師：森川氏）②ケアマネージャー向け（講師：森川氏）③市民向け（講師：澤登氏）
- (4)平成27年度 ①養護教諭向け（講師：田口氏）②市民向け（講師：澤登氏）③職員向け（林 偉明氏）
- (5)平成28年度 ①小中学校教諭向け（講師：田口氏）②市民向け（講師：澤登氏）③職員向け（講師：田口氏）
- (6)平成29年度 ①養護教諭向け研修（講師：田口氏）②市民向け（講師：澤登氏）③職員向け（講師：田口氏）
- (7)平成30年度 ①こころの教育、学校教育相談員向け（講師：田口氏）②市民向け（講師：澤登氏）③職員向け（講師：田口氏）

